

新しい子育て支援施策と体制について 西村千鶴子 議員

問 4月に創設される「こども家庭庁」は「こども基本法」の基本理念に則って施策をされるが、本市も虐待やいじめの予防施策、ヤングケアラー支援など、今後の新しい施策と実施体制を求めます。市の方針は？

答 「こども家庭庁」と共に施行される「こども基本法」の基本理念を念頭に、市の子ども子育て施策事業をより一層充実させるために、支援を必要とされる方々からの要請を待つだけでなく、行政の方から積極的に働きかけていく「アウトリーチ型」の手法が重要であると考えます。そのために職員研修を始め、支援体制の強化を図り、迅速な対応ができるよう、より一層取り組みます。

・他の質問項目：高齢者の見守り支援について

稼げるまちづくり、選ばれるまちづくり について 関本 真樹 議員

問 近鉄郡山駅前再整備についてアスモなど周辺商業施設の再編も選択肢に含めていると聞いている。人が集い、歩きたくなる駅前にするために三の丸会館あたりまで含めて、民間資本も活用した大型開発にしてはどうか。

答 事業対象範囲が大きくなると、課題検討や関係機関との調整に多大な時間を要し、事業施行に伴う市民生活への影響もさらに大きなものになることから、郡山城跡の整備、城下町エリアでのリノベーション推進など、他の関連するプロジェクトの相乗効果を発揮する上でも、まずは現状の計画範囲での整備を主眼とした事業展開とし、早期完成を目指していきたいと考えています。

・他の質問項目：県域水道一体化について

支え合い助け合う地域社会の 構築について 河田 和美 議員

問 ①認知症早期発見の取組は？また、物忘れ健診の実施を要望します。②認知症発症のリスクも懸念される带状疱疹のワクチン接種に助成のお考えは？③認知症や障がいを持った方がコミュニケーション方法や投票所内の案内・代理投票の必要性を伝える選挙支援カードの導入は？

答 ①認知症の早期発見のため「物忘れ相談会」を開催し、結果によっては医療機関への受診勧奨や地域包括支援センターが定期的に訪問し経過観察を行っています。物忘れ健診と同様の対応として「物忘れ相談会」「若年性認知症相談会」により、今後も認知症の早期発見と予防に努めて参ります。②他市の状況を勘案しながら動向を注視して参ります。③4月の統一地方選挙より導入します。

家庭が抱える多様な問題の相談について 児童保育所について 富野 孝之 議員

問 ①家庭の多様な悩みを持つ方は、どこで相談するかを迷う。福祉と子育て支援を合わせた総合相談窓口を設置しては？②保護者の負担軽減のため、各学童の代表による検討の成果として設置されるサポートセンターの詳細と将来展望は？現在の保護者会運営の保育の質の高さを維持した体制改革と、支援員の研鑽・待遇改善を望む。

答 ①将来的には、事案に応じて柔軟かつ的確に対応できる総合相談窓口の設置も必要と考えます。②令和5年4月3日から城址会館にサポートセンターを設置し、平日午前10時から午後6時まで、事務の効率化と負担軽減に取り組みます。将来的には、運営主体をサポートセンターに移行し、市の委託事業として実施したいと考えます。

国民健康保険について 尾口 五三 議員

問 令和5年度の保険税は据え置かれるのか、資格者証数、軽減数、滞納数など現状を聞いて、令和6年度の統一保険税はどうなるのかについて質問し、引き上げない方法はないのかを含め、引き下げを要望しました。

答 令和5年度の保険税率は現在の税率を据え置くことに決定いたしました。資格者証数は現在14世帯で、令和5年度は1桁の発行数を予定しております。軽減数は2割・5割・7割軽減の合計で7,994世帯、滞納数は1,348世帯です。令和6年度の統一保険税につきましては、平成30年度改定時の上げ幅よりも、低く収まると見込んでおります。

・他の質問項目：新清掃センターについて

高齢者施策について 上田 健二 議員

問 ①いきいき百歳体操や、集いの場として茶話会やレクリエーションを行う介護予防教室を、地域ごとにホームページで紹介したり、ガイドマップとして地図上で情報提供することも必要ではないか。②高齢者外出支援で、スーパーから玄関まで送迎できるデマンド方式や、民間バスを割引する「100円バスカード」を導入できないか。

答 ①地区ごとの介護予防教室一覧やマップの作成について今後検討してまいります。②高齢者移動支援等の市内公共交通につきましては、「大和郡山市公共交通の在り方検討委員会」を設置し、高齢者が安心して移動できる環境の整備について、今後も協議を進めてまいります。